

国体まで、あと6か月

「愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体」は、昭和28年に四国4県で共同開催して以来、64年ぶり、初の単独開催となるものです。今回は四国中央市地域での開催はなかったため、本市にとって初めての開催となります。今月から国体本番までの6か月間、国体関連の情報をお知らせしていきます。今月は、正式4競技のうち「軟式野球」と「フェンシング」の2競技について紹介します。

軟式野球競技と見どころ

軟式野球は、ゴム製のボールを使用する日本発祥の野球で、幅広い年代でプレーされており、非常になじみ深い競技となっています。ゴムのボールを使うことを除けば、硬式野球と同じルールで行われます。

激しい打撃戦や華麗な守備、バッテリーの配球と打者との駆け引き、さらにチャンスやピンチの時のチームの作戦など、見どころが盛りだくさんで、各チーム優勝を目指して白熱の試合を繰り広げます。出場チームは、各都道府県支部の予選会で優勝したのち、ブロック大会の激戦を勝ち抜いて代表となった精鋭ぞろいのチームが参加します。

■軟式野球開催日程など

10月6日(金)～10月9日(月)の4日間に、左記6会場で32チームが参加して開催されます。本市では、10月6日の1回戦2試合が開催されます。

【四国中央市】浜公園川之江野球場

第1試合8時、第2試合10時20分
【その他の会場】今治市営球場(今治市)、西条市ひうち球場・西条市東予運動公園野球場(西条市)、新居浜市営野球場(新居浜市)、いきなスポレク公園蛙石野球場(上島町)

会場となる浜公園川之江野球場は、平成4年にオープンしましたが、国体を機にグラウンドの土、芝生及び防護ネットやラバーフェンスの張り替えなどの改修のほか、2200人収容のスタンド及びトイレの改修が進められています。中でも、バックスクリーン・スコアボードは最新のディスプレイが設置され、鮮やかな表示や動画を楽しむことができますので、リニューアルした野球場もお楽しみください。

フェンシング競技と見どころ

フェンシングには「フルール」「エペ」「サーブル」の3種目があります。試合は、ピストと呼ばれる幅1.5m×2.2m、長さ14mの場所で行われます。後方境界線から両足が出た場合は「出し押し」として相手に1ポイントが与えられます。判定においては、定められた罰則以外は電気審判器で判定されます。有効面を突くと色(赤か緑)ランプ、無効面をつくると白ランプが点灯します。

■フェンシング競技開催日程など

10月1日～4日の4日間、伊予三島運動公園体育館で開催されます。成年男子(フルール・エペ)、成年女子(フルール・サーブル)、少年男女(フルール)の種目が行われ、成年男子は47都道府県から1チームずつ、成年女子・少年男女は各地区ブロック代表の18チームが出場し、技を競い合います。

試合時間は3分間、5本勝負です。少年男女は、監督1人・選手3人で1チーム、成年男女は監督兼選手1人を含む3人で構成し、試合方法は、1チーム3人構成の紅白戦による団体戦で行います。

Fleuret フルール



フルールは突きだけが許され、相手の頭や手足を除く胴体部分が有効面となります。剣と剣の攻防が見どころです。

■部分が有効面

Epee エペ



エペは頭の前からつま先まで、どこを突いても有効となります。先に相手を突いた方に得点が入ります。素早い突きが要求される種目です。

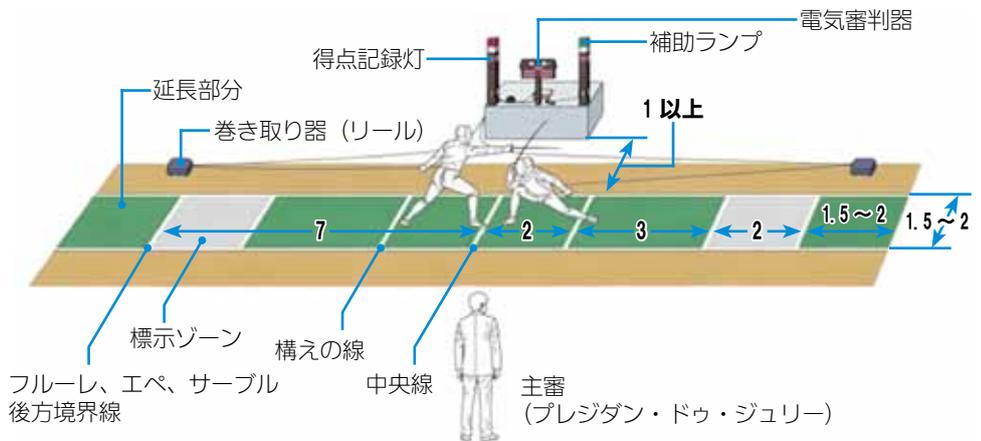
■部分が有効面

Saber サーブル



サーブルは突きだけでなく、切りという行為によっても、ポイントが得られます。激しい動き、そして豪快な切り合いが見どころです。

■部分が有効面




大会運営ボランティア募集のお知らせ

国体期間中に全国から訪れる選手や監督、観覧者のみなさんをおもてなしする大会運営ボランティアを募集します。仕事内容は「受付・案内」「会場サービス」「環境美化」になります。半世紀に一度のスポーツの祭典に、ぜひ一緒にスタッフとして参加しましょう！参加したスタッフには、四国中央市オリジナルのジャンパーと帽子がもらえるよ！



四国中央市オリジナルジャンパーと帽子

申問 国体推進課 28-6162